

「看取り」体制の取り組みについて

(配布資料)

① 看取りの必要性 ……なぜ今、看取りを進める必要があるのか？

安城では看取りの場所について、市民の5割弱が自宅を希望しているが、現状、自宅死は1割強、老人ホーム死は1割未満である。

→ 本人が希望する場所で死ねないのが実態。
今後は高齢者も増え、病院の入院日数も少なくなる。

在宅医療の体制の確立には、まず看取りの体制作りが必要である。

② 「看取り」体制の推進における課題

昨年、看取りの問題点と対応策を出したが、同じ方向性を向いていない。

→ 地域包括ケアシステムを構築していく上でも、地域ケア推進部会が一丸となって取り組むため、「安城市の目指す姿」という共通の目標が必要である。

③ 安城市の「看取り」体制の取組方法について

- 1) 安城市の看取りの目指す姿の統一
- 2) 安城市の事例を通して、目指す姿に近づくには何ができていて、何が出来ていないかを確認。
- 3) 目指す看取り期の姿を達成するための目標を設定。
- 4) 具体策検討
- 5) 評価内容の決定